

各位

三井住友信託銀行株式会社

航空機リースファンドの共同設立について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:常陰 均、以下「三井住友信託銀行」)は、独立系航空機リース会社である Novus Aviation Capital(CEO:Safwan Kuzbari、以下「Novus」)とともに、Ortus Aircraft Leasing Fund(以下「本ファンド」)を共同で設立致しましたので、お知らせ致します。

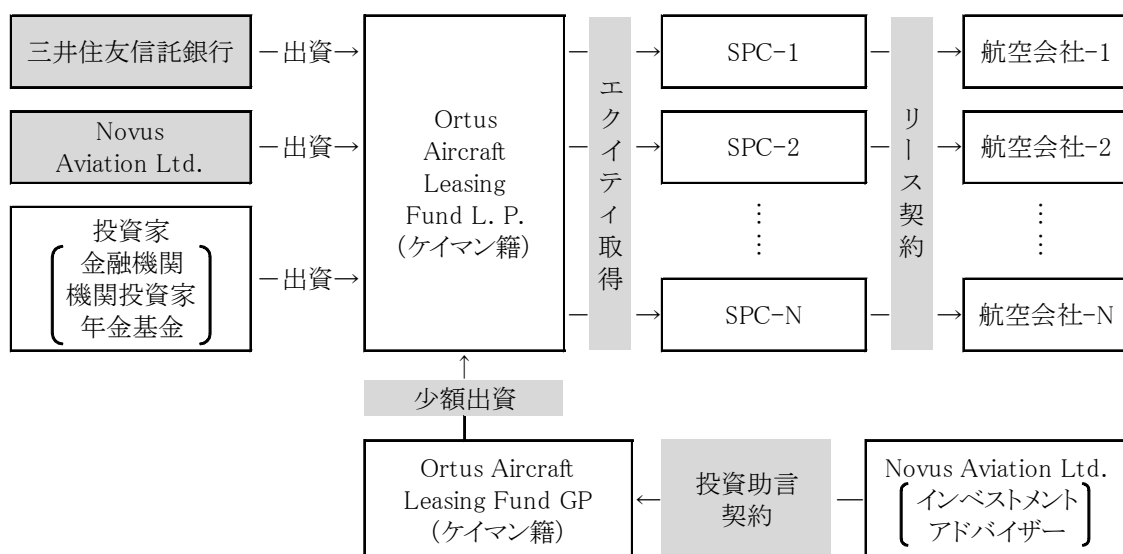
1. 設立の背景・目的

航空機リース投資については、旺盛な航空機需要を背景に、海外機関投資家を中心に投資需要が高まりつつある中、今般、三井住友信託銀行として、国内投資家を対象に、初めて航空機リースファンドを共同で設立したものです。

航空機ファイナンス市場は年間 1,270 億ドルもの巨大市場であり、今後 20 年で運航機数も現在の 2 万機程度から 4 万機超まで増加すると見込まれています。航空会社の機材調達はリース形態での導入が拡大傾向にあり、2020 年までには世界の航空機ファイナンス市場全体の 50%を占めるようになると予測されています。このような市場環境を踏まえ、三井住友信託銀行及びNovusは、成長産業における魅力的な投資機会を国内投資家の皆様に提供すべく、本ファンドを設立しました。

本ファンドは投資家からの出資金等をもとに、航空機を購入し、世界の航空会社にリースします。投資家は航空会社が支払うリース料、および機体売却を原資にした配当を受け取ることができる仕組みです。国内においては、運用難の状態が続いており、金融機関・機関投資家・年金基金等の運用ニーズは高まっています。三井住友信託銀行は本ファンドを通じてそれらの投資家の皆様に向けた新たな投資商品提供を進めてまいります。

【スキーム図】



2. ファンドの概要

名称	:Ortus Aircraft Leasing Fund L.P.
ジェネラル・パートナー	:Ortus Aircraft Leasing Fund GP Limited
インベストメント・アドバイザー	:Novus Aviation Ltd. (Novus Aviation Capital の 100%子会社)
設立	:2016 年 6 月
目標ファンドサイズ	:2 億米ドル

(参考)Novus Aviation Capital の概要

本店所在地	:スイス連邦、ジュネーブ
代表者	:CEO Safwan Kuzbari
設立	:1994 年
主な事業内容	:航空機リース事業および当該事業に係る投資助言、投資アレンジ等
従業員数	:32 名(連結、2016 年 5 月現在)

以上